

第40回 全日本少年サッカー大会 東京都第11ブロック大会 要項

1. 参加資格

- 年間を通じリハウスリーグに参加していること。
- 2016年度第4種に加盟登録したチームであること(準加盟チームを含む)。登録団体より1チームの参加となる。
- チームの構成は単一に限られ、年間を通じて継続的に活動していること。
- チームに所属する選手であり、JFA発行の選手証を有すること(試合には持参)。
- 小学生6年生を主体としてチーム編成をすること。5年以下が加わる場合は、健康、体力、技能等十分に考慮しチーム責任においてエントリーすること。
- 参加チームは、チーム内を掌握・指導できる成人である指導者がいる、そして帯同できること。
JFAの指導者資格であるD級以上、キッズリーダ、もしくはブロック主催の指導者講習会へ参加し資格を取得したスタッフが1名以上ベンチ入りすること。

2. 競技規則

- 最新の8人制競技規則に準ずる。また、本大会固有の規則以外は、最新の競技規則(2016/2017)に準ずる。
- 試合都度のチーム登録人数に制限はなし(中央大会は16名まで)。
- 試合開始時は8人必須。8人にみえない場合は参考試合とする。
- 20分ハーフとしインターバルは5分とする。
- ユニフォーム規定は今年度遂行したリハウスリーグの内容に準ずる。
- 交代ゾーンからの自由な交代とする。GKの交代はアウトオブプレーのときに行う。
- 審判は2人制とする(主審、補助審判)。ただし、ベスト8が出そろった試合以降は4人審判として行う。(主審、副審、予備審判)
- ベスト4でリーグ戦を行い順位を決定する。なお4位までが中央大会に出場できる。
- リーグ戦の順位決定は、勝ち点⇒得失点差⇒総得点⇒当該チームの試合結果⇒抽選とする。
- フィールドはたて68m、よこ50mを基本とし、会場の設備にあわせ調整を認める。
- 競技者および指導者・審判は選手証またはライセンス証を持参のうえ、試合開始予定30分前までに本部によるチェックを受けること。
- 退場処分(1試合のなかでの退場(警告2枚を含む))、および累積2枚の警告となった場合は、次の試合にはメンバー入りできない。
- ボールは4号球とし、両チームが持ち寄る。O. 8気圧相当。
- 試合は常時8人で行う(ケガ、退場処分等になった場合は、競技者を即時補充し8人で戦う)。
※懲戒となり、退場となった場合は、競技者の補充が行われるまで競技を再開しない。
※ケガの治療でフィールドの外に競技者がでた場合や、競技者の補充する時間においては、8人に満たない状況であってもプレーを続けることができる。
※試合中8人未満になってしまった場合は、その試合は参考試合とする。
- 勝敗を決めるペナルティマークからのキックは3人制で行う。決着しない場合はサドンデス方式とする。
- キックオフから直接相手ゴールにボールが入った場合は、相手チームのゴールキックにて再開する。
- 飲水タイムは基本的には取得しないが、取得した場合にはアディショナルタイムとして扱う。
- ベンチ入りスタッフは2名以上～3名以下とすること。
- 試合に都度割り当てのある審判員(有資格者)をチームに同行させること。本大会に参加している他チームとのシェアは認めない。敗戦したチームが後日の審判を手伝うことは認める。
- 勝敗を決めるペナルティマークからのキックは後半に出場している選手にて行う。
※第三の選手がGKをする場合、GKシャツを着用する必要はないが、正副で利用していないほうのシャツを着用し、GKであることを特定できるようにすること。(同じ番号であること)
※PKの開始時、進行中にGKが負傷した場合、ベンチにいる交代要員のGKと入れ替わることは可能。
交代して退いたゴールキーパーはそれ以降参加できず、キッカーを務めることもできない。

3. 細則その他注意事項

- ★ユニフォームについて、胸番号、背番号の不備、チーム名やエンブレムの不備のないように準備ください。
- ★試合には必ず、FPの正副、GKの正副を持参ください。
- ★番号は試合の都度選手固有のものとするようお願いいたします。
- ★審判員は必ず審判服を着用し(黒色のジャージ等は不可。特にパンツ)、用具および審判カードなども各自持参してください。
- ★原則としてユニホームは同じものとするが、メーカー生産のモデル変更などによる軽微な差異(ライン色が異なる、一部分デザインが異なる等)は認めます。ただし、あくまで軽微な差異であること、また確認を行う人の主観により決定されることに注意すること。
- ★あらかじめ用意する3人目のGKについては他の2人のユニフォームと同じ彩色のものでなくとも良い。ただし、相手競技者との見分けがつくこと。
- ★想定外でのケース(怪我・退場など)で3人目のGKの出場が必要となった場合、FPの正副使用していないシャツをGK用として利用可能とする。こちら相手競技者との見分けがつくこと(主審の判断)。この際正副の一方が利用できない場合には、他の競技者との見分けのつく安全なジャージ(番号なし・ジッパーなし)の着用を認める。ビブスは不可とする。この際懲戒等があった場合には登録時の番号を記録を残す。
- ★チームとして(応援のコーチ、保護者等含め)サッカーに対し、敬意のない行為をしないように留意・徹底をお願いいたします。
- ★各会場における指定されたルールを順守すること。